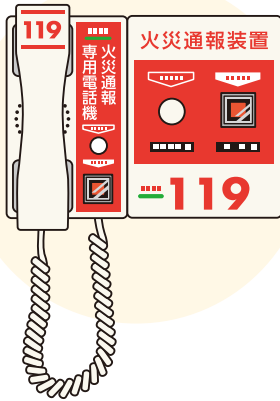


宿泊施設への火災通報装置 設置のお願い!!



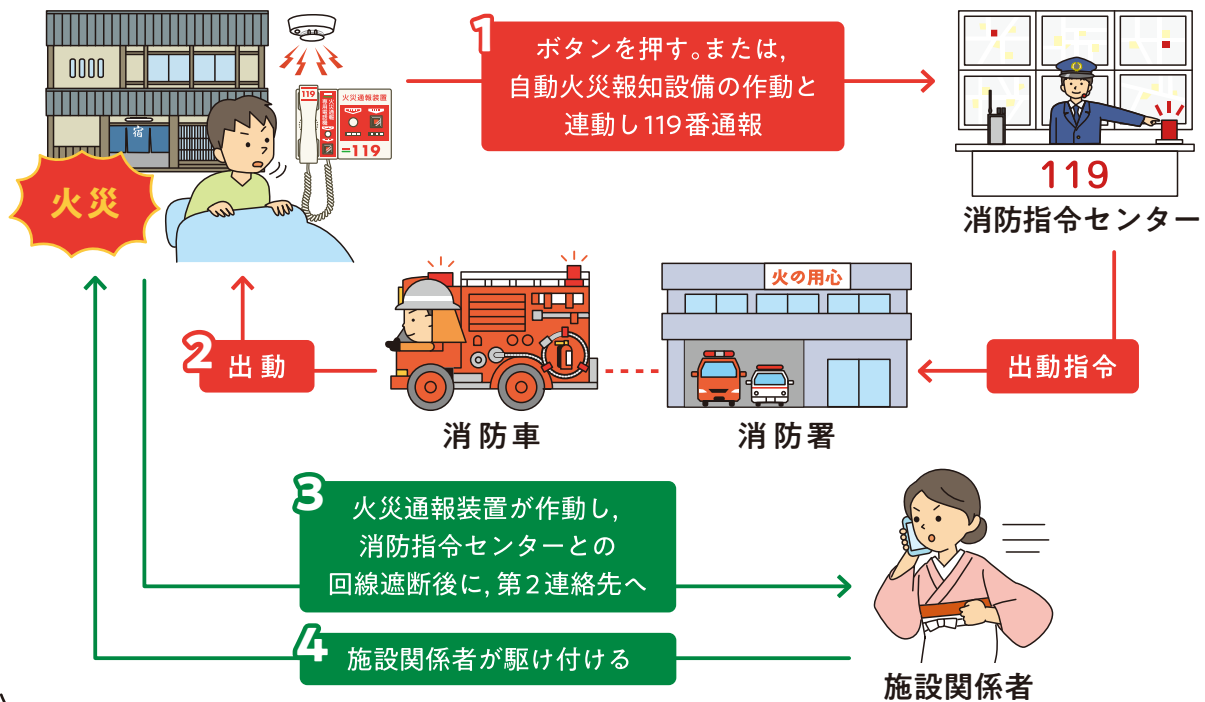
火災通報装置は、「ボタンを押す」だけで自動的に119番通報します。住所・場所が分からなくても自動的に音声メッセージが流れ、早期に消防車を要請できます。自動火災報知設備の作動と連動して自動通報するように設定することも可能です。

火災通報装置とは、電話回線を使用して消防機関を呼び出し、蓄積音声情報により通報するとともに、呼び返しにより、直接、消防指令センターと通話を行うことができる装置です。



京都市消防局公式キャラクター
北山 駆

火災通報装置は、次のような流れで通報(連絡)します。



メリット 1

住所が分からなくても

119番通報時に、宿泊施設の住所が分からなくても、消防指令センターに宿泊施設の正確な住所を連絡することができます。

メリット 2

自動通報

設置時に直接通報の設定をしておくと、宿泊施設の自動火災報知設備が作動した場合、自動的に119番通報できます。

メリット 3

管理者へ直接連絡

119番通報後、登録してある施設関係者の電話番号に連絡が入ります。



外国人観光客からの通報に時間を要した例

住所が答えられず、郵便番号と近くの目標物や通り名を伝えたため、時間を要した。

宿泊施設の住所が分からないため、近くのコンビニまで行き、通報を依頼した。

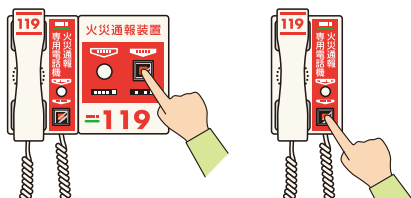
滞在先の住所が答えられなかった。ほかの滞在者に通報を代わり、住所を伝えた。

通報に際して、日本人よりも**外国人の方が**少なくとも**3~5分程度**時間を要しています。

火災通報装置の操作方法是これだけ！

01

前面パネルの火災通報ボタン又は電話機の火災通報ボタンのどちらかを押し、作動させます。



火災通報ボタンが押され火災通報装置が起動すると**応答確認**ランプが点滅します。

02

「応答確認」ランプが点灯している間は、消防機関にメッセージを送出しています。

火災通報専用電話機の手話器を外し、**通話割込**ボタンを押すと消防機関と直接通話ができます。(火災の規模、負傷者の有無などを知らせる。)

応答確認 点灯



内容	固定フレーズ	不定フレーズ	固定フレーズ
火災通報ボタン操作時	ビビビ・ビビビ 火事です・火事です	住所、名前など 個別メッセージ	逆信してください (119番通報時のみ)
自動火災報知設備連動時	ピンポン・ピンポン 自動火災報知設備が 作動しました		

注：不定フレーズの内容は、事前に宿泊施設を管轄する消防署と打合せてください

03

電話機のベルが連続して鳴れば、受話器を上げて、消防指令センター員と直接通話ができます。



04

受話器を置くと、自動で第2通報先(施設関係者)に掛かります。



05

再度、受話器を置くと、電話は切断され、復旧します。(自動火災報知設備の作動と連動して通報した場合は、自動火災報知設備についても復旧する必要があります。)

設置の際の注意事項

火災通報装置の設置に当たっては、次のことが必要となります。

- 電話回線が必要となります(IP電話回線の場合、モデムなどに電源を供給できる無停電電源装置が必要となります。)
- 電源は、蓄電池又は交流低圧屋内幹線から他の配線を分岐しないこと。その他、消防法等の技術基準への適合が必要です。

- 工事は、消防設備士でなければできません。
- 設置の際には、事前に下記の管轄の消防署に御相談ください。
- 設置後、点検や維持管理が必要です。
- 通報した際には、関係者が駆け付けることが必要です。

宿泊施設の防火に関するお問合せは、管轄の消防署(分署)までお願いします。

北消防署

491-4148

上京消防署

431-1371

左京消防署

723-0119

中京消防署

841-6333

東山消防署

541-0191

山科消防署

592-9755

下京消防署

361-4411

南消防署

681-0711

右京消防署

871-0119

西京消防署

392-6071

伏見消防署

641-5355

醍醐消防分署

571-0474